

秋田県議会議員一般選挙
(能代市山本郡選挙区)

選挙公報

平成31年4月7日執行
秋田県選挙管理委員会

「うすい司」の目標!!



① 安心して子育てができる環境づくりを進めます!
② 出産や子育て環境の向上に向け、地域の公共サービス機能の充実化をはかります。

③ 保育については実施体制の整備をはかるとともに、保育の質の向上と保育士の人材確保に向けて、正職員化や待遇改善に取り組みます。

④ 児童虐待相談に迅速に対応するため、専門スタッフの配置や一時保護所の環境改善に取り組みます。

⑤ 地域雇用拡大に向け、地場産業の育成やまちづくりを推進します。

⑥ 介護・福祉分野での労働条件改善等に対する支援強化と研修助成支援により介護福祉施設や専門職養成学校と連携し、雇用の創出をはかります。

⑦ 新しい事業機会の開拓を目的とした起業・投資、研究開発等に対する支援拡充に取り組みます。

[うすい司 選挙事務所]
〒016-0116 秋田県能代市字機械新町ノ目227
TEL.0185-70-1717
FAX.0185-58-2829

プロフィール
◆昭和35年 能代市鶴形生まれ(58歳)
◆昭和54年 秋田県立能代高等学校卒業
◆平成26年 能代市役所退職(勤続35年)

平成27年 秋田県議会議員(1期目)
●平成27年 産業観光委員会 委員
●平成29年 教育公安委員会 委員
●平成29年 政務活動費等検討会議 委員
能代市立鶴形小学校PTA会長
能代市立能代東中学校PTA副会長
自治労能代山本統支部長
連合秋田能代地域協議会議長(通算3期)

今こそ、皆さんのが「声」を大切に!!

V 労働力の補完としての外国人材を受け入れる

人口減少が一番進んでいる秋田県が外国人材の受け入れが全国で少ない。国が積極的に受け入れることになったのだから秋田県もその体制を整え、人材不足の分野を補うようにする

IV 新しい産業の可能性を追求する

洋上風力の拠点として注目されている秋田県が発電の恩恵をしっかりと受けられる様、将来の水素社会への対応も含め提言する。

しかし、人体への影響や環境への負荷など地元への不利益は絶対に許さない

光のあたらないところに
光をあてる!!



政の心

すべての人があなた安心して
暮らせるように…

うすい司



よしかた
吉方せいげん

吉方せいげんが今後県議会で
取り上げたいこと

I 子育て世代の訴えの実現

◎ 乳幼児期・母親同士の交流の場を増やす

◎ 小学校学力を高めるための支援員の拡充をする

◎ 中学校部活動の地域スポーツクラブへの移行を目指す

◎ 高校これから高等教育無償化で対象となる部分を補う。地域への定着・回帰のために「地域愛」を持てるようにする

II 高齢者の生活不安をなくす
買い物や通院のための交通手段を考えていくとともに、移動販売や宅配便と地元商業者のカタログ販売などを連携させ、住み慣れた地域での生活基盤を支える

III 農林水産業から地域を元気にする

◎ ネギやシイタケなど、地域の成功例を拡大し、所得を上げ若者が農業を目指す地域を作り、農業生産額の5割増加を目指す。◎ 売れるコメづくりのため、行政でできることをやる。◎ 林業家から製材・建築にいたるまで、木に携わる方が今后も木で仕事が続けられる様、木の消費を拡大し、再造林ができる体制を作る。◎ 「育てる漁業」への転換を支え、秋田の食を担う海産物の安定確保を目指す



民間・行政・政治
すべて経験がある、
佐藤のぶき!

プロフィール 昭和50年1月18日生まれ

小・中・高・大までバスケット部。国際武道大学体育学部体育学科卒業後、元衆議院議員野呂田芳成先生のもとで3年間秘書を務める。その後、神奈川県にて建設業に携わり、道路の舗装などを経験。平成14年旧八戸町役場で採用。

平成18年3月三種町に変わり、12年間公務員として、農業、林業、行政改革、税務などを担当。秋田県議会議員選挙への立候補を決意し、平成26年3月退職。

平成27年4月秋田県議会議員選挙で初当選。県議会では、農林水産委員会(H27.28)、建設委員会(H29.30)、議会運営委員会(H29.30)を経験。

4人家族(妻、長女、長男)趣味はバスケットボール、スキー、ゴルフ、映画鑑賞など

現在の主な役職
自由民主党秋田県連合会青年局長
能代工業バスケットボール部OB会副会長
秋田県スキー連盟理事
その他
●三種町消防団第7分団団員 三種町防犯協会鶴川支部会員

若い力で拓く、

今後、取り組んでいくこと

地場産農産物のブランド化をはじめメガ団地、農地集約などを推進し、農家の所得向上を図ります。将来を見据え、IoTを活用したスマート農業の実現に取り組みます。

日沿道の早期完成と、これまで実現してきた広域観光交流の流れを更に加速させ、道の駅「ふたつい」や五能線、国道101号線を活用し、能代山本地域への誘客を促進します。

海・川・山など豊かな自然を活用した観光コンテンツを磨き上げ、交流人口の増加を図ります。

秋田の未来!

地域医療体制の充実・強化や子育て支援の充実を図り、高齢者から子どもまで安全・安心に暮らせる社会を強化します。

防災・減災対策として、インフラ環境の見直し・整備等について取り組みます。

情報化社会が加速する中、時代の変化に即応すべく、あらゆる県政課題解決に全力で取り組みます。

県政に関する意見交換会を各地域で積極的に開催し、皆さまからの貴重なご意見を県政課題解決に繋げてまいります。



佐藤のぶき
自民党公認

投票日 4月7日

投票時間：午前7時～午後8時

- 投票時間は投票所により異なる場合があります。
- 投票所・投票時間の詳細については、ご家庭に送られる投票入場券をご覧になるか、各市町村の選挙管理委員会にお問い合わせください。

秋田県選挙管理委員会 / 秋田県明るい選挙推進協議会



子どもと一緒に選挙に行こう

投票所には18歳未満の子どもと一緒に入場することができます。総務省が18~20歳の男女3,000人に行った調査では、子どもの頃に親の投票についていたことのある人は、ついていたことがないよりも、投票を行った人の割合が高いという結果が出ています。親子連れ投票は子どもの将来の投票につながっています。



秋田県議会議員一般選挙
(能代市山本郡選挙区)

選挙公報

平成31年4月7日執行
秋田県選挙管理委員会

能代山本は、海・山・川の豊かな自然環境をもつ秋田県の縮図です！
未来を創る若者たちや高齢者の安全安心な暮らしを守る人にやさしい社会の実現と、
恵まれた地域資源を存分に活用した産業振興を図り、「秋田の成長モデル」を目指します。

人にやさしい社会の実現

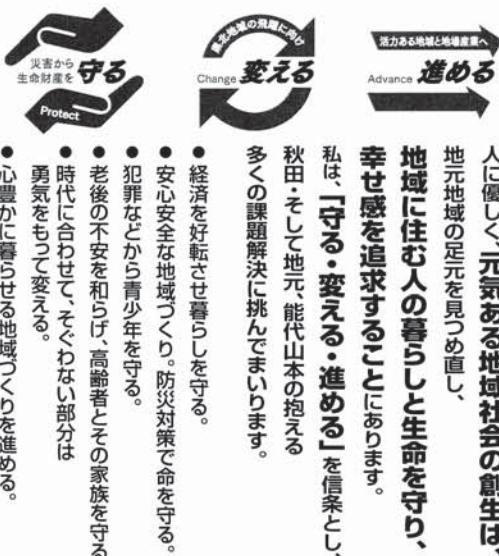
- 地域で守る子育て環境の推進
- 児童教育の無償化、高等教育の負担軽減
- 福祉の充実で高齢者世代に安心感
- 人口減少問題の解消、健康長寿日本一の実現
- 地球にやさしい環境施策

地域資源を活用した産業振興

- 再生可能エネルギー関連事業による雇用の拡大
- 観光資源による地域のにぎわいづくり
- 園芸メガ団地化の推進により農業を成長産業へ
- CLT、木鉄ハイブリット部材化など地場木材産業の推進
- 漁業資源の付加価値化、水産版メガ団地の実現



そして新たな時代へ!!



高橋
たけひる
自由民主党公認

応期みご
え待など
まますにん健
健けん
のは



能代山本の住民一人ひとりが誇りを持てる
明るく元気な街づくりに、全力を注ぎます。



どう
健
けん
自由民主党公認

1. 最大の課題である人口減少対策に最優先で取り組みます
 - 結婚・出産・子育て・住宅等ライフサイクルの中で安心して子どもを生み育てることができる支援
 - 産業振興による若者が定住できる良質な雇用の場の確保
2. スポーツによる交流人口の拡大と健康寿命の延伸に取り組みます
 - 全日本小学生女子ソフトボール大会等、各種スポーツ大会や合宿の誘致による地域活性化
 - 高齢者の健康増進と社会参加の促進
 - スポーツ少年団等の育成支援と、スポーツを通じて次世代を担う子どもたちの健全育成
3. 能代山本だからできる産業振興に取り組みます
 - 能代港の機能強化と利活用の促進による企業立地や産業創出
 - 起業支援とがんばる地元企業の支援
4. 能代山本だからできる農林水産業の振興に取り組みます
 - 儲かる農業等の支援と若者の就労意欲向上
5. 地域振興の基盤となる交通対策に取り組みます
 - 日沿道早期開通促進と大館能代空港の利便性の向上
 - 市町の交通弱者対策の支援
6. 安心して暮らせる地域医療体制及び介護サービスの確保充実に取り組みます
 - 地域の実情にあった医療体制を支援
 - 担い手の育成確保

秋田県議会議員一般選挙

投票日 4月7日

投票時間：午前7時～午後8時

期日前投票 / 不在者投票
**3月30日(土)
～4月6日(土)**

- 投票時間は投票所により異なる場合があります。
- 投票所・投票時間の詳細については、ご家庭に送られる投票入場券をご覧になるか、各市町村の選挙管理委員会にお問い合わせください。

秋田県選挙管理委員会 / 秋田県明るい選挙推進協議会



選びたい秋田のこれからわたしの将来

県議選
4月7日



子どもと一緒に選挙に行こう

投票所には18歳未満の子どもと一緒に入場することができます。総務省が18～20歳の男女3,000人に行った調査では、子どもの頃に親の投票についていたことのある人は、ついていたことがない人よりも、投票を行った人の割合が高いという結果が出ています。親子連れ投票は子どもの将来の投票につながっています。